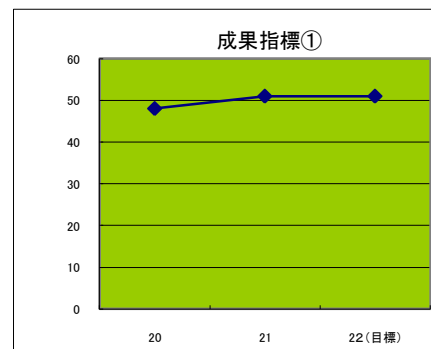
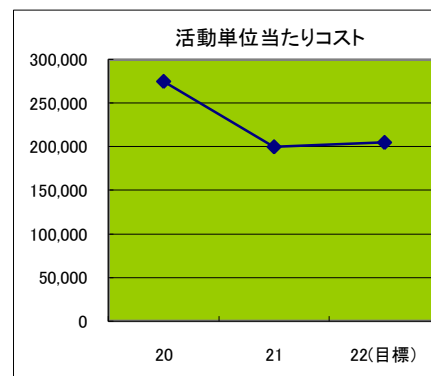


事務事業名		府立高校開放業務		会計		
				款		
総合基本計画	まちづくりの目標(章)	4	魅力ある地域社会を拓く活力あるまち	項目		
	施策(節)	4	市民スポーツ・レクリエーション	事業		
	施策の方向	(3)	施設の有効活用と効率的な管理運営	作成部署 教育委員会事務局生涯学習室 スポーツ振興課		
関連する計画等				連絡先	072 - 958 - 1111	内線 4412
事業の目的	対象(誰を・何を)			市内在住・在勤の社会人で構成されたチーム		
	意図(どういう状態にしたいのか)			学校教育に支障のない範囲で開放し、社会体育の振興を図る。		
	事業の内容			羽曳野市内の大阪府立羽曳野高校・西浦高校の2校のグラウンドを社会人で構成されたチームに開放している。グラウンド使用を希望する団体は、例年3月にチームの登録を済ませ審査の結果適正であると認めた場合には、年3回の抽選会に参加する事ができる。第1期(5～7月分)第2期(8～12月分)第3期(1～3月分)年3回抽選会を開催し使用団体を決める。抽選会で当たったチームは申請書に記入して提出し、後日大阪府教育委員会教育長の許可書が発行される。登録費及び使用料は無料。		
根拠法令等		スポーツ振興法				
事業開始時期		☐ 昭和 年開始 ☒ 明確にはわからない ☐ 平成 ☐ 市制施行(昭和34年)以前より行っている			終了年度	平成 年度
事業開始時からの状況変化		登録団体が増加している。				
市民や議会の要望		社会人が利用できるグラウンドが少ないことに対する改善要望。				
実施手法		☒ 直営 ☐ 一部委託 ☐ 全部委託 ☐ 補助金・助成金 ☐ その他()				
委託先		☐ 市外郭団体委託 名称() ☐ 民間委託 ☐ その他			委託内容	

区 分		20年度 (実績)	21年度 (実績)	22年度 (見込み)
事業費【1】 (千円)				
人件費【2】 (千円)		825	600	615
職員数	正規職員	0.11 人	0.08 人	0.07 人
	再任用職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	嘱託職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.05 人
	超過勤務(参考) (時間)	0.00 時間	0.00 時間	0.00 時間
総事業費(【1】+【2】)【A】 (千円)		825	600	615
財源内訳	国費 (千円)			
	府費 (千円)			
	市債 (千円)			
	その他(手数料・使用料等) (千円)			
	一般財源 (千円)	825	600	615
活動指標(事業の活動実績)【B】 単位		20年度	21年度	22年度(目標)
① 抽選会開催回数	回	3	3	3
②				
③				
活動単位当たりコスト(【A】/【B】①)		275,000 円	200,000 円	205,000 円
市民1人当たりコスト(【A】/人口)		7 円	5 円	5 円



成果指標 (事業目的の達成度を測る指標)	指標名		単位	指標設定の考え方	平成20年度		平成21年度		平成22年度
	①	(式)	団体	府立高校開放登録団体数	目標	44	48	達成率(%)	51
					実績	48	51	106.3%	
	②	(式)			目標			達成率(%)	
					実績				

